

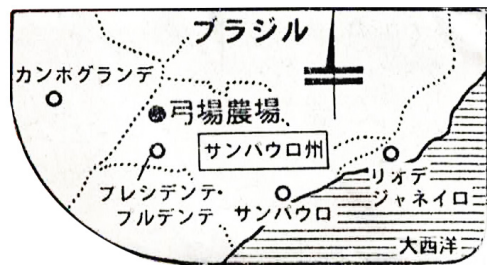
PROGRAM NOTE

2023 年 1 月

聖書のおばあちゃん 矢崎 治子談



私共のおります弓場農場は、100名ほどの老若男女の日本人共同体で、キリストの精神に根ざし、祈ること、農業すること、芸術することをモットーとしています。二十余年前に長男が思いかけない導きでここに移住したのが縁で、私たち夫婦も日本で定年退職したあと永住をころざしてやってまいりました。



私はクリスチャンホームで育ちましたから、生まれた時から神様がいることは当たり前だと思っていました。九歳で幼児洗礼を受け、昭和元年、女学生二年生の時に信仰告白をして教会員になりました。台北の女学校卒業後は、東京のキリスト教の学校へすすみました。

そんなある日、救世軍の創設者山室軍平先生の集會に導かれ、自分の本当の姿に目覚めさせられました。先生とは、台北でもお会いしたことがあり、母も伝道のお手伝いをしたことがありました。先生の著書などもらって日頃から尊敬していました。やがて、救いを確信した私は救世軍に献身し、そこで救世軍士官であった主人と結婚したのですが、戦時中は解体させられてしまいましたが、戦後、賀川豊彦先生のお声がかかりで、小金井にできたばかりの福祉事業の系列に属する保育園の先生として務めることになりました。

賀川豊彦先生とは、母が台湾で伝道集會などのお供をしていたこともあって、私が神戸の貧民窟で救世軍の仕事をするようになった時にも、いっしょに祈禱会や集會に出席させてもらっていました。賀川先生は保育園を開かれる時に私のことをよく覚えておられて、両親に「娘さんに私の仕事をたのみたい」といわれ、私には「キリスト教をしっかりと教えてほしい」と言われました。その後、保育園研修会にいつも講師として来ていただいていた太田俊雄先生が、新潟で敬和学園を設立されることになり、私もそこでささやかながらサポートをさせていただくことになりました。次男も理科大を出て、数学の教師の口をさがしていた時だったので、その事をお話したところ、太田先生も本人の手柄にひかれたのか、即刻、教師としてつとめる道が開かれました。

実は、私の「アンデスの声」との出会い、その敬和学園高校のモス校長夫妻が番組に出演されたのがきっかけでした。モス夫人がインタビューの中で、南米に移住していった方々の中に矢崎という知人がある」と話しておられたのを「アンデスの声」の放送で聞いたという人がいたのですが、生憎、弓場農場に着いて間もない私のラジオでは受信は無理でした。受信周波数がすくなくて放送が入ってこないのです。これは困ったなと思っていたところ、幸いにも日本からのラジオが手に入り、その時からはずっと「アンデスの声」が聞かれるようになったのです。それ以来楽しんでます。人生いろいろと繋がりがああるものですね。



賀川豊彦先生や山室軍平先生の「魂へ行け」という意気込みが、私をここまで生かしてくださっているのだと信じています。弓場農場では、私は「おばあちゃん」と呼ばれながら、これからも小さな魂にしっかりと聖書のお話をきかせてやりたいと思っています。(南米ふれあいの旅 1996 年放送)

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
1月07日	マリンバの調べ (日本の曲特集)	1月08日	リスナーからの「お便り交換の時間」
1月14日	アメリカ新発見 (アラバマ&ミシシッピ)	1月15日	聖書遊覧バス 旧約聖書 ヨシュア記3章
1月21日	南米ふれあいの旅 (ユバの農場 矢崎 治子)	1月22日	聖書遊覧バス 旧約聖書 ヨシュア記5章
1月28日	女ばかり南米大陸をゆく (チチカカ湖)	1月29日	リスナーからの「お便り交換の時間」

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3 形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15.420kHz (再放送) 午後8時~8時30分 11.905kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

